



GO! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第27号

ラグビータウンむなかたの実現を

ラグビーワールドカップ2019日本大会は、日本代表の史上初ベスト8進出とともに記録的な効果と多くのレガシーを残しました。スポーツの力を実感することは、スポーツ基本法の目指す「スポーツを通じて全ての人々が幸せで豊かな生活を営むことのできる社会」を実現する好機となり、スポーツ立国、スポーツ立県福岡につながります。

宗像市は「ラグビータウンむなかた」を目指しています。これはグローバルアリーナや宗像サニックスブルース等のラグビー資源を活かし、ラグビーをする、見る、支えることのできる環境を整えていく、という魅力的なまちづくりのビジョンです。

この資源には、品位、情熱、結束、規律、尊重というラグビー憲章の中心価値、外国人も日本人もワンチームになって戦うダイバーシティ(多様性)、試合が終れば敵味方区別ない仲間というノーサイドの精神、といった今後の日本に必要とされる精神的価値も含まれます。

今後、宗像と深いつながりのある日本代表のキャンプ再誘致、アジア地区のラグビー普及を行うアジアラグビー交流フェスタの継続開催の働きかけ、20周年を迎え、ワールドカップに25人もの選手が出場したサニックスワールドラグビーユース交流大会の支援、などを行うことで認知度を高める必要があります。

ラグビーブームが巻き起こり、レガシーは東京オリンピック・パラリンピックへ、そして未来へつながっていくと感じています。

サニックス創業者故宗政伸一前社長の熱量がグローバルアリーナとサニックススポーツ財団をつくり、長年の活動でラグビー文化が根付きました。これを育てていくことでラグビータウンむなかたを実現させるべきと考えます。



アジアラグビー交流フェスタはグローバルアリーナの大会運営の実績が日本ラグビーフットボール協会に評価されて開催されました。14歳以下アジアの海外と国内8チームずつで行われ、河東中学校や部活動での国際交流も行われました。福岡県の事業なので、なんとか継続してもらいたいものです。

ラグビーW杯公認キャンプ地の効果を検証します

私は初当選した平成24年以来「宗像をラグビーW杯のキャンプ地に」と訴え続けてきました。当時は宗像のラグビー資源は埋もれた宝でしたが、世界三大スポーツイベントであるW杯にむけて、これを磨くことがまちの輝きになると考えたからです。

誘致活動の結果、宗像は公認キャンプ地として選ばれず、W杯中は何のイベントも行わないまま終了しました。

公認キャンプ地に選ばれた周辺自治体では、交流やシティプロモーションなどの効果が期待されました(北九州、春日、福岡市。右項)

チームの情報が原則非公開だったため、交流日程の調整が難航したことをはじめ、不確定要素が多く、人、金、時間の負担が大きい割には、効果を得るのが今後の課題となる自治体もあり、難しい面もあったと感じました。

宗像市は大きなチャンスを逃しましたが、公認キャンプ地を目指すことで、「ラグビータウンむなかた」というレガシーができました。今後は効果を検証し、毎年行われているサニックスワールドユースやキッズセブン等に応用して未来への贈り物とすべきだと考えます。

北九州市

ウェールズのキャンプ地。公開練習はミクニワールドスタジアムに15,000人の大観衆が集まり、ウェールズ国歌や賛美歌でのおもてなしはSNSで世界中に広がり絶賛されました。W杯終了後にウェールズラグビー協会と北九州市の新聞の全面広告による感謝のやりとりはレガシー協定を結ぶことにつながり、これらのパブリシティ効果は約23億3700万円と算出されています。この準備は1年半がかりで行われ、ウェルカムセレモニーと小学校訪問が行われました。

春日市

カナダ、アイルランドのキャンプ地。カナダは歓迎イベント、少年ラグビーチームとの交流、中学校の訪問。アイルランドは小学校訪問。

福岡市

イタリア、アメリカ、サモアのキャンプ地。イタリアが小学校訪問。アメリカ、サモアが博物館を訪問。



キャンプ地誘致は人や金の組織力、市民の協力が、相手チームに信頼される交渉力、メディアやSNSの対応力、など行政の枠を超えた能力の必要性を実感しました。今後のスポーツコミッションの参考になります。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

10月 第2回宗像ジャズが開催されました。寄付、場所の提供、出店など皆様の御協力のおかげで、多くの来場者と経済効果、そして、街角に流れるジャズを楽しむことができました。偶然とは思えないつながりと回復した天気にも感謝。

11月 ラグビーW杯が南アフリカの優勝で幕を閉じました。グローバルアリーナでは第16回むなかたキッズセブンラグビー大会が行われ、1058人の小学校3,4年生ラガー、93チーム、197試合の熱戦を繰り広げました。世界のプロでも日本の小学生でも、スポーツの感動は伝わります。

12月 12月定例会にて指定管理などを審議しました。グローバルアリーナの20周年記念祝賀会が行われ、改めてその価値を実感しました。

宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
平成28年 宗像市議に再選を果たす
現在 宗像市久原に在住
宗像市監査委員
自民党宗像市支部 青年局長
東郷地区青少年指導員会長

